

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

諏訪南行政事務組合一般会計【茅野市】

事務事業名	リバーサイドクリニック診療所事業	事業期間	平成 13 ~ 年度	整理番号	03080101
担当部署	健康福祉部	リバーサイドクリニック	管理業務係	作成担当者名	宮坂 浩雄
				連絡先	72-7010

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	無	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 06 第6節 地域医療の充実			
			細施策 01 地域医療の推進			
			事務事業 03 病診連携・診診連携の促進事業			
	予算事業名			会計コード 014 款 01 項 01 目 01 事業		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	診療所を設置し、市立の無床診療所として地域の中核病院との機能分担・連携を行うなかで、日常病の診療・慢性疾患の管理・在宅医療を中心に担い、市民の健康保持に必要な医療及び介護等を提供する。				
	現状と背景 （どうして）	無床診療所として外来診療に加え、訪問診療・夕方診療等を行っているが、少子化及び医療の冬の時代を迎える中で、独立採算の公営企業診療所として将来に向けて経営していける基盤を固めたい。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	健康保持に必要な医療及び介護等を必要とする者。			
		対象 （直接働きかける）	健康保持に必要な医療及び介護等を必要とする者。			
	手段・方法 （どうやって）	新規（初診）の外来患者数を増やす事により、外来収益の確保を図り、公営企業会計の診療所として、より経営の健全化を図る。 地域の開業医・診療所間の連携を密にすること及び地域の中核病院との機能分担により、通常の時間内の患者数の増及び病院からの逆紹介患者数の増を図る。また、訪問診療等には更に力を入れ、これらによる診療内容の充実（結果としての日当点の増）とともに初診患者の増を図る。				
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		外来患者を増やす	1日当たりの平均患者数	人	延患者数 ÷ 診療日数	68
		日当点を増やす	1人1日当たりの日当点	点	外来収益 ÷ 延患者数	776
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		外来収益	外来収益	千円		154,530
		医療利益	医療利益	千円	医療収益 - 医療費用	14,367

項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算又は決算額）	平成30年度事業計画（予算）		
事業費等 (a)	円	107,002,967	91,488,576	89,752,097	76,227,379	85,302,000		
財源内訳								
国庫支出金	円			1,080,000		1,000		
県支出金	円							
地方債	円							
その他特定財源	円	13,778,000	18,120,000	13,250,000	7,016,000	9,855,000		
一般財源	円	93,224,967	73,368,576	75,422,097	69,211,379	75,446,000		
職員数	人							
正規職員	人	3.42	3.84	3.84	4.84	5.84		
嘱託職員	人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00		
臨時職員	人	2.86	3.49	3.46	4.00	5.00		
合計	人	8.28	9.33	9.30	10.84	12.84		
対象（者）数								
延利用（者）数 (b)	人	19,045	18,482	16,891	17,053	18,396		
単位コスト (a)/(b)	円	5,618	4,950	5,314	4,470	7,819		
受益者負担額	円	24,315,371	22,710,748	23,559,200	29,001,411	25,673,000		
市民一人当たりのコスト	円	1,906.00	1,634.00	1,609.00	1,373.00	2,597.00		
活動指標	1日当たりの平均患者数	目標	人	65	76	66	68	63
		実績	人	66	62	58	58	63
	達成率	%	101.54	81.58	87.58	85.29	100.00	
	1人1日当たりの日当点	目標	点	727	708	692	775	783
		実績	点	695	693	779	786	783
	達成率	%	95.60	97.88	112.51	101.42	100.00	
—	目標	—	—	—	—	—		
実績	—	—	—	—	—	—		
達成率	%	—	—	—	—	—		
成果指標	外来収益	目標	千円	138,456	158,397	133,420	154,530	144,077
		実績	千円	135,811	128,160	131,462	133,952	144,077
	達成率	%	98.09	80.91	98.53	86.68	100.00	
	医療利益	目標	千円	1	8,344	14,390	14,367	7,716
実績		千円	(3,280)	(2,766)	12,727	7,718	7,716	
達成率	%	-328,000.00	-33.15	88.44	53.72	100.00		
備考								

事務事業名	リバーサイドクリニック診療所事業	事業期間	平成 13 ~	年度	整理番号	03080101	
担当部署	健康福祉部	リバーサイドクリニック	管理業務係	作成担当者名	宮坂 浩雄	連絡先	72-7010

四半期と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題		
	第1期					
	第2期					
	第3期					
	第4期					
<b>事 中 評 価</b>						
	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		現 状 維 持	③	⑥	⑨
			縮 小	④	⑧	⑩
			休 廃 止	①		
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度		当年度												総合評価判定												
視点	妥当性	有 効 性				効 率 性				総合評価判定																
		1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	B														
チェック				レ	3			レ	3					レ	3	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要 前年度総合評価判定 B 前年度評価シート整理番号 03080101										
課題	平成22年度から3年続けて赤字決算となったが、平成25年度からは全体として黒字決算となっている。小規模な診療所ではあるが公営企業会計方式の独立採算であるため患者数の確保により安定した健全（黒字）経営への転換をはかりたい。また、平成25年度より、医療機器購入費の1/2、北山診療所の赤字相当額について一般会計より補助をいただいているので、これにより診療所の経営基盤の強化をはかりたい。妥当性：平成19年度以降患者数が減少し市民ニーズが低下したが、25年度より徐々にではあるが患者数が回復している。また、高齢の在宅患者の往診ニーズは今後さらに高まることが予想される。有効性：診療内容、対象患者を再考し、また、在宅診療を充実させることで収益を確保することが可能と考えられる。効率性：電子カルテの効率的な運用により人件費の削減等の余地が残されている。																									
H E C K	細 施 策 評 価 前	平成13年度の診療所開設以来、平成20年度と22、23、24年度に於いて赤字決算となった。公営企業会計方式を採用しているが全国の自治体立の診療所の多くが一般会計方式であることを考えれば、四度の赤字額には減価償却額が含まれる数値であったことも考慮されたい。地域の患者さんへの安定した医療の提供は、安定した経営基盤があってこそ可能であり、また、収益の確保による経営的な余力が患者サービスにつながることであり、医療の質の更なる向上と患者数の確保とともに健全経営に努めたい。												細 施 策 評 価 後	平成13年度の診療所開設以来、平成20年度と22、23、24年度に於いて赤字決算となった。公営企業会計方式を採用しているが全国の自治体立の診療所の多くが一般会計方式であることを考えれば、四度の赤字額には減価償却額が含まれる数値であったことも考慮されたい。地域の患者さんへの安定した医療の提供は、安定した経営基盤があってこそ可能であり、また、収益の確保による経営的な余力が患者サービスにつながることであり、医療の質の更なる向上と患者数の確保とともに健全経営に努めたい。											
	前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性																								
改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T I O N ）	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	レ	⑦	成 果 的 拡 充					レ														
	今 後 の 方 向 性	現 状 維 持	③	⑥		⑨	現 状 維 持																			
	今 後 の 方 向 性	縮 小	④	⑧		⑩	縮 小																			
	今 後 の 方 向 性	休 廃 止	①				休 廃 止																			
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性						皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性																		
改 革 ・ 改 善 策		対象患者の再考として外部施設等の嘱託医となること等を実施し、その初診患者数の増により患者数の増を目指す。また、高齢化社会に向けさらに在宅患者の確保に努める。公営企業会計の診療所としてより経営の健全化を図り、患者サービスに努める。成果（収益）については患者数の増による収益増を目指し、コスト（費用）については電子カルテの効率的な運用により人件費等の削減に努める。年度内に於いて、1日平均患者数68人を確保する。												対象患者の再考として外部施設等の嘱託医となること等を実施し、その初診患者数の増により患者数の増を目指す。また、高齢化社会に向けさらに在宅患者の確保に努める。公営企業会計の診療所としてより経営の健全化を図り、患者サービスに努める。成果（収益）については患者数の増による収益増を目指し、コスト（費用）については電子カルテの効率的な運用により人件費等の削減に努める。次年度内に於いては、さらに1日平均患者数を確保する。												

最終評価年月日	平成30年5月14日	最終評価責任者	リバーサイドクリニック所長	安 藤 親 男
---------	------------	---------	---------------	---------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

諏訪南行政事務組合一般会計【茅野市】

事務事業名	泉野診療所事業（出張診療所）	事業期間	平成 13 ~ 年度	整理番号	03080102
担当部署	健康福祉部	リバーサイドクリニック	管理業務係	作成担当者名	宮坂 浩雄
				連絡先	72-7010

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	無	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 06 第6節 地域医療の充実			
			細施策 01 地域医療の推進			
			事務事業 03 病診連携・診診連携の促進事業			
	予算事業名		会計コード	014 款 01 項 01 目 01 事業 一		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	診療所を設置し、市立の無床診療所として地域の中核病院との機能分担・連携を行うなかで、日常病の診療・慢性疾患の管理・在宅医療を中心に担い、市民の健康保持に必要な医療及び介護等を提供する。				
	現状と背景 （どうして）	地理的に交通の便が悪く、常時診療をしている医療機関への通院困難を解消するために出張診療所を開設して医療サービスの提供に努めているが、平成15年の診療報酬改定により日当点が下がった為、赤字経営となっている。				
	目的 対 象 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	受益者 （ 誰 の た め に ）	健康保持に必要な医療及び介護等を必要とする者。			
		対象 （ 直 接 働 き か け る ）	健康保持に必要な医療及び介護等を必要とする者。			
	意 図 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	外来患者数を増やす事により外来収益の確保を図り、公営企業会計の出張診療所であることから、より経営の健全化を図る。				
	手段・方法 （ ど う や っ て ）	通院患者は高齢者が主な為患者数の増をはかるのは難しいが、医師の判断による定期受診勧告等により受診者を増やし外来患者数の増をはかる。				
N （ ）	活動 指 標 の 作 成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		外来患者を増やす	1日当たりの平均患者数	人	延患者数 ÷ 診療日数	10
		日当点を増やす	1人1日当たりの日当点	点	外来収益 ÷ 延患者数	637
	成 果 指 標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		外来収益	外来収益	千円		3,187
		医療利益	医療利益	千円	医療収益 - 医療費用	1

項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）			
事業費等 (a)	円	2,183,906	2,444,435	2,848,245	1,747,131	2,848,000			
財源内訳									
国庫支出金	円								
県支出金	円								
地方債	円								
その他特定財源	円								
一般財源	円	2,183,906	2,444,435	2,848,245	1,747,131	2,848,000			
職員数	人	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16			
正規職員	人								
嘱託職員	人								
臨時職員	人	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25			
合計	人	0.41	0.41	0.41	0.41	0.41			
対象（者）数									
延利用（者）数 (b)	人	459	440	420	358	392			
単位コスト (a)/(b)	円	4,758	5,556	6,782	4,880	11,525			
受益者負担額	円	278,430	330,980	456,833	251,514	388,739			
市民一人当たりのコスト	円	39.00	44.00	51.00	31.00	82.00			
D （ ）	活動 指 標	1日当たりの平均患者数	目標	人	9	10	10	10	8
			実績	人	9	8	9	7	8
	達成率	%	100.00	80.00	89.00	70.00	100.00		
	1人1日当たりの日当点	目標	点	582	590	631	637	5,562	
		実績	点	666	666	618	553	5,562	
	達成率	%	114.43	112.88	97.97	86.81	100.00		
—	目標	—	—	—	—	—			
実績	—	—	—	—	—	—			
達成率	%	—	—	—	—	—			
O （ ）	成 果 指 標	外来収益	目標	千円	2,672	3,009	2,966	3,187	2,180
			実績	千円	2,974	2,931	2,586	1,981	2,180
	達成率	%	111.30	97.41	87.19	62.16	100.00		
	医療利益	目標	千円	1	1	1	1	1	
実績		千円	(859)	(919)	(1,734)	(1,521)	1		
達成率	%	-85,900.00	-91,900.00	-173,400.00	-152,100.00	100.00			
備考									

事務事業名	泉野診療所事業（出張診療所）	事業期間	平成 13 ~	年度	整理番号	03080102	
担当部署	健康福祉部	リバーサイドクリニック	管理業務係	作成担当者名	宮坂 浩雄	連絡先	72-7010

四半期と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題
	第1期			
	第2期			
	第3期			
	第4期			

事 中 評 価

今 後 の 方 向 性	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	充 足	②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	現 状 維 持	③	⑥	⑨
		縮 小	④	⑧	⑩
		休 廃 止	①		
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度 当年度

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
チェック				レ	3				レ	3				レ	2	C					
課題	<p>現在赤字経営ではあるが、診療報酬が改定される以前の平成14年度までは黒字経営であり、無医地区での出張診療を望む患者さんがいるかぎり診療所を廃止することは出来ない。また、現在のところ他の医療機関（民間）が関与する可能性は無い。平成21年度からは健診室を新たに整備し、泉野地区に於ける特定健診等の受診率の向上もはかり患者サービスに努めている。受診者数の増により患者数を確保し、独立採算の公営企業診療所の出張診療所として最低限でも収支均衡を維持したい。妥当性：地区の対象者は徐々に減少しており、市民ニーズは低下している。有効性：出張診療所での診療内容を見直す（特定健診等の開始）ことで収益増をはかることが可能と考える。効率性：民間の医療機関が関与することは可能であるが、現実として手上げをする医療機関は無いと考える。</p>																				記号の定義
前年度総合評価判定																	C				
前年度評価シート整理番号																	03080102				

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後													
	<p>現在赤字経営ではあるが、診療報酬が改定される以前の平成14年度までは黒字経営であり、無医地区での出張診療を望む患者さんがいるかぎり診療所を廃止することは出来ない。また、現在のところ他の医療機関（民間）が関与する可能性は無い。平成21年度からは健診室を新たに整備し、泉野地区に於ける特定健診等の受診率の向上もはかり患者サービスに努めている。健診等による受診者数の増により患者数を確保し、独立採算の公営企業診療所の出張診療所として最低限でも収支均衡を維持する。</p>										<p>現在赤字経営ではあるが、診療報酬が改定される以前の平成14年度までは黒字経営であり、無医地区での出張診療を望む患者さんがいるかぎり診療所を廃止することは出来ない。また、現在のところ他の医療機関（民間）が関与する可能性は無い。平成21年度からは健診室を新たに整備し、泉野地区に於ける特定健診等の受診率の向上もはかり患者サービスに努めている。健診等による受診者数の増により患者数を確保し、独立採算の公営企業診療所の出張診療所として最低限でも収支均衡を維持する。</p>								
前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性														

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (ACTION)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	充 足	②	⑤	⑦		充 足				
	現 状 維 持	③	⑥	⑨		現 状 維 持	レ			
	縮 小	④	⑧	⑩		縮 小				
休 廃 止	①				休 廃 止					
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					
平成21年度からは健診室を新たに整備し、泉野地区に於ける特定健診等の受診率の向上もはかり患者サービスに努めている。成果（収益）については現状を維持し、コスト（費用）についてはより削減に努めている。健診受診者数の増により患者数を確保し（1日平均10名）、独立採算の公営企業診療所の出張診療所として最低限でも収支均衡を維持する。					平成21年度からは健診室を新たに整備し、泉野地区に於ける特定健診等の受診率の向上もはかり患者サービスに努めている。成果（収益）については現状を維持し、コスト（費用）についてはより削減に努めている。健診受診者数の増により患者数を確保し（1日平均10名）、独立採算の公営企業診療所の出張診療所として最低限でも収支均衡を維持する。					

最終評価年月日	平成30年5月14日	最終評価責任者	リバーサイドクリニック 安藤 親男
---------	------------	---------	-------------------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

諏訪南行政事務組合一般会計【茅野市】

事務事業名	北山診療所事業	事業期間	平成 24 ~ 年度	整理番号	03080103
担当部署	健康福祉部	リバーサイドクリニック	管理業務係	作成担当者名	宮坂 浩雄
				連絡先	72-7010

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	無	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 06 第6節 地域医療の充実			
			細施策 01 地域医療の推進			
			事務事業 03 病診連携・診診連携の促進事業			
	予算事業名			会計コード 014 款 01 項 01 目 01 事業 一		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	診療所を設置し、市立の無床診療所として地域の中核病院との機能分担・連携を行うなかで、日常病の診療・慢性疾患の管理・在宅医療を中心に担い、市民の健康保持に必要な医療及び介護等を提供する。				
	現状と背景 （どうして）	平成24年8月より茅野市立の診療所として北山診療所を再開し、市内中心地から遠く、医療機関への通院困難を解消するために医療サービスの提供に努めているが、平成26年9月までは常勤医師の確保が出来なかった。平成26年10月からは常勤医師が配置され徐々に患者数は増えてきているが、現在では旧診療所の患者数には届かず、赤字経営となっている。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	健康保持に必要な医療及び介護等を必要とする者。			
		対象 （直接働きかける）	健康保持に必要な医療及び介護等を必要とする者。			
		意図	外来患者数を増やす事により外来収益の確保を図り、公営企業会計の出張診療所ではあることから、より経営の健全化を図る。			
	手段・方法 （どうやって）	平成26年10月から常勤医師が確保出来、常設の診療所としての機能が整ったことから、さらに地域への周知を行い、高齢化社会を迎える中での訪問診察等の在宅医療をPRすることで外来患者数の増をはかりたい。また、別荘地も控えることから、公報等による周知も行いたい。				
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		外来患者を増やす	1日当たりの平均患者数	人	延患者数 ÷ 診療日数	15
		日当点を増やす	1人1日当たりの日当点	点	外来収益 ÷ 延患者数	836
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		外来収益	外来収益	千円		30,579
		医療利益	医療利益	千円	医療収益 - 医療費用	1

項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算又は決算額）	平成30年度事業計画（予算）			
事業費等 (a)	円	19,592,354	25,669,748	20,150,976	26,173,126	23,211,000			
財源内訳									
国庫支出金	円	1,080,000			1,080,000				
県支出金	円								
地方債	円								
その他特定財源	円	2,913,000	3,338,000	118,000	2,154,000	761,000			
一般財源	円	15,599,354	22,331,748	20,032,976	22,939,126	22,450,000			
職員数	人								
正規職員	人	0.42	1.00		1.00	1.00			
嘱託職員	人			1.00	1.00	1.00			
臨時職員	人	0.79	1.59	1.59	1.00	1.00			
合計	人	1.21	2.59	2.59	3.00	3.00			
対象（者）数									
延利用（者）数 (b)	人	580	2,748	3,159	3,344	3,904			
単位コスト (a)/(b)	円	33,780	9,341	6,379	7,827	9,026			
受益者負担額	円	1,739,530	3,394,550	5,694,203	7,946,214	6,732,000			
市民一人当たりのコスト	円	349.00	459.00	361.00	471.00	636.00			
D （ ）	活動指標	1日当たりの平均患者数	目標	人	13	10	13	15	16
			実績	人	6	11	13	14	16
		達成率	%	46.15	110.00	100.00	93.33	100.00	
	1人1日当たりの日当点	目標	点	594	698	824	836	9,127	
		実績	点	675	831	894	987	9,127	
		達成率	%	113.64	119.05	108.46	118.06	100.00	
O （ ）	成果指標	外来収益	目標	千円	15,552	16,891	26,024	30,579	35,632
			実績	千円	8,703	22,833	28,225	33,011	35,632
		達成率	%	55.96	135.18	108.46	107.95	100.00	
	医療利益	目標	千円	1	1	1	1	1	
		実績	千円	(17,284)	(11,969)	(8,573)	(7,986)	1	
		達成率	%	-1,728,400.00	-1,196,900.00	-857,300.00	-798,600.00	100.00	
備考									

事務事業名	北山診療所事業	事業期間	平成 24 ~	年度	整理番号	03080103	
担当部署	健康福祉部	リバーサイドクリニック	管理業務係	作成担当者名	宮坂 浩 雄	連絡先	72-7010

期	目 標	実 績	課 題
第1期			
第2期			
第3期			
第4期			

事 中 評 価							
管 理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性	成 果 拡 充	②	⑤	⑦	レ
			現 状 維 持	③	⑥	⑨	
			縮 小	④	⑧	⑩	
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		休 廃 止	①			
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題 ( C H E C K )	視 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定	
	評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定		B
	チェック				レ	3				レ	3					4		
課 題	平成24年8月より茅野市立の診療所として北山診療所を再開し、市内中心地から遠く、医療機関への通院困難を解消するために医療サービスの提供に努めている。平成26年10月からは常勤医師が配置され徐々に患者数は増えてきているが、現在では旧診療所の患者数には届かず赤字経営となっている。現在のところ他の医療機関（民間）が関与する可能性は無く、無医地区での診療を望む患者さんがいるかぎり診療所を廃止することは出来ないと考えている。近隣には以前受診していた患者さんも多く、常勤医師が確保出来たことによる受診者数の増により患者数を確保し、独立採算の公営企業診療所として収支均衡を維持したい。妥当性：地区からは常時受診可能な診療所の希望があり、市民ニーズはあると考えている。有効性：常勤医師の確保と診療機器等を充実することで収益増をはかることが可能と考える。効率性：電子化等の事務改善、調達費用、委託先の見直し等によって事業費及び人件費の削減の余地が残されている。															記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要		
前年度総合評価判定																B		
前年度評価シート整理番号																03080103		

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後														
	現在のところ他の医療機関（民間）が関与する可能性は無く、無医地区での診療を望む患者さんがいるかぎり診療所を廃止することは出来ないと考えている。患者数は徐々にではあるが増えている。高齢化する社会の中で往診患者や夕診患者の増を図るとともに、無医地区での診療所としての存在感を高めたい。近隣には以前受診していた患者さんも多く、常勤医師の確保により患者数を確保し、公営企業診療所として最低限でも収支均衡を維持したい。										現在のところ他の医療機関（民間）が関与する可能性は無く、無医地区での診療を望む患者さんがいるかぎり診療所を廃止することは出来ないと考えている。患者数は徐々にではあるが増えている。高齢化する社会の中で往診患者や夕診患者の増を図るとともに、無医地区での診療所としての存在感を高めたい。近隣には以前受診していた患者さんも多く、常勤医師の確保により患者数を確保し、公営企業診療所として最低限でも収支均衡を維持したい。									
	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性														

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 ( A C T I O N )	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後							
	成 果 拡 充		②	⑤	⑦	レ	成 果 拡 充				レ		
	現 状 維 持		③	⑥	⑨		現 状 維 持						
	縮 小		④	⑧	⑩		縮 小						
休 廃 止	①					休 廃 止							
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性							皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

改革・改善策	平成26年10月より常勤医師が勤務する常設診療所として診療が可能となった。レントゲン室を新たに整備し、血液検査装置も導入し医療機器の充実を図っている。地域への周知により患者数の増を図りたい。成果（収益）については患者数増による拡大を目指し、コスト（費用）についても、患者数増に伴う最低限の費用増としたい。常勤医師が常駐することにより更に患者数を確保し（1日平均15名）、独立採算の公営企業診療所の出張診療所として最低限でも収支均衡を維持する。	平成26年10月より常勤医師が勤務する常設診療所として診療が可能となった。レントゲン室を新たに整備し、血液検査装置も導入し医療機器の充実を図っている。地域への周知により患者数の増を図りたい。成果（収益）については患者数増による拡大を目指し、コスト（費用）についても、患者数増に伴う最低限の費用増としたい。常勤医師が常駐することにより更に患者数を確保し、独立採算の公営企業診療所の出張診療所として最低限でも収支均衡を維持する。
--------	---	--

最終評価年月日	平成30年5月14日	最終評価責任者	リバーサイドクリニック 所長	安 藤 親 男
---------	------------	---------	----------------	---------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	休日・夜間診療体制事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	04030101
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康総務課係	作成担当者名	今井由香			連絡先	330

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり							
				施策	06	第6節 地域医療の充実							
				細施策	01	地域医療の推進							
				事務事業	05	在宅当番医制運営事業（一次医療）緊急医輪番制運営事業（二次医療）							
	予算事業名	休日・夜間診療体制事業費			会計コード	001	款	04	項	01	目	01	事業
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	地域住民の休日における急病患者の医療の確保を図るため、諏訪郡医師会に委託している。 休日、夜間における入院治療を必要とする重症救急患者の医療の確保を図るため、病院郡輪番制の運営に要する経費の負担金。 休日における歯科診療を歯科医師会へ委託している。 夜間における小児の急病医療体制を確保する。 休日、夜間において医療の確保は必要である。												
現状と背景 （どうして）	休日、夜間において医療の確保は必要である。												
目的 的	対象	受益者 （誰のために）	地域住民										
	対象	対象 （直接働きかける）	地域住民										
的	意図 （どんな状態にしたいか）	休日、夜間における急病に対して、医療の確保を行う。											
手段・方法 （どうやって）	一次医療については諏訪郡医師会が、二次医療については諏訪医療圏の6病院（市立岡谷・諏訪湖畔・諏訪共立・諏訪赤十字・諏訪中央・富士見高原）が医療にあたる。 休日歯科診療は、諏訪郡歯科医師会へ委託し行う。 小児の夜間急病診療は、圏域の医師会があたる。												
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		市民への制度の周知	広報によるPR	回	掲載回数				12				
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		休日診療日数	休日診療日数	日	診療日数				72				
		小児夜間診療日数	小児夜間診療日数	日	診療日数				365				

項	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円	17,911,431	18,634,106	19,013,178	19,167,905	17,910,000
	財源内訳						
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円	17,911,431	18,634,106	19,013,178	19,167,905	17,910,000
	職員数						
	正規職員	人	0.10	0.10			
	嘱託職員	人					
臨時職員	人						
合計	人	0.10	0.10				
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	-
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	319.00	333.00	341.00	345.00	323.00	
活動指標	広報によるPR	目標	12	12	12	12	12
		実績	12	12	12	12	12
	達成率	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
	-	目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-
	達成率	-	-	-	-	-	
成果指標	休日診療日数	目標	72	73	73	75	74
		実績	72	73	73	75	74
	達成率	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
	小児夜間診療日数	目標	365	365	366	365	365
		実績	365	365	366	365	365
	達成率	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
備考							

事務事業名	休日・夜間診療体制事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	04030101
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康総務課係	作成担当者名	今井由香	連絡先	330

期	目標	実績	課題
第1期	地域住民の救急医療体制を維持する。	休日・夜間における医療の確保。	専門診療以外の患者への診療。
第2期	地域住民の救急医療体制を維持する。	休日・夜間における医療の確保。	専門診療以外の患者への診療。
第3期	地域住民の救急医療体制を維持する。	休日・夜間における医療の確保。	専門診療以外の患者への診療。
第4期	地域住民の救急医療体制を維持する。	休日・夜間における医療の確保。	専門診療以外の患者への診療。

事中評価			
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 委託料、負担金とも市町村の人口割りで算出するため、毎年負担が増えている。 新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 地域住民の救急医療体制が確立されている。	今後の方向性	成果の方向性	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①
		拡充	② ⑤ ⑦
		現状維持	③ ⑥ ⑨
		縮小 休廃止	④ ⑧ ⑩ ①
		皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性	

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4					4					4	A
チェック					4					4					4	

課題	委託料、負担金とも市町村の人口割りで算出するため、毎年負担が増えている。															記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要	
	前年度総合評価判定																A
	前年度評価シート整理番号																

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	地域住民の救急医療体制が確立されている。 前年度改革・改善策の実施状況 その他	地域住民の救急医療体制が確立されている。					地域住民の救急医療体制が確立されている。			

改革・改善の方向性（ACTION）	細施策評価前					細施策評価後				
	地域住民の救急医療体制確立のため、今後も実施する。	成果の方向性	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①	皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性	成果の方向性	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①	皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性			

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤澄子
---------	------------	---------	-----------	------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	諏訪中央病院組合負担金			事業期間	平成 25 ~ 年度	整理番号	04020109
担当部署	健康福祉部	高齢者・保険課	医療保険・年金係	作成担当者名	笹岡 俊江	連絡先	322
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり	
				施策	06	第6節 地域医療の充実	
				細施策	01	地域医療の推進	
				事務事業	—		
予算事業名	諏訪中央病院負担金			会計コード	001	款	04
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	諏訪中央病院組合に対し、地域医療の充実と安定経営のために、総務省の基準に基づき茅野市負担分（85%）を拠出する。 看護専門学校については運営経費の茅野市負担分（85%）を拠出する。						
現状と背景 （どうして）	加速する少子高齢化社会を迎え、医療をとりまく環境が変化しています。今後、医療施設も患者から選別される時代に備え安定的かつ継続的な医療を維持する必要があるため、老朽化の施設の改修及び基幹設備の更新を含めた抜本的な見直しが必要のため。						
目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	受益者 諏訪中央病院組合（市民）					
	対象 （直接働きかける）	諏訪中央病院組合（市民）					
	意図	設備環境等の改善を図ることで、患者の立場に立った医療提供、医療と介護施設の連携、全人的医療の推進と高度医療の充実を図り地域医療に貢献する。また、諏訪中央病院組合の安定経営に寄与する。					
手段・方法 （どうやって）	諏訪中央病院組合						
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
		地域医療の充実と安定経営	負担金の拠出	6	各会計へ年2回に分けて拠出	6	
		成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
	経営安定	医業収支比率	%	(医業費用/医業収益) × 100	100		
	経営安定	総収支比率	%	(総費用/総収益) × 100	100		

項	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）	
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円	411,945,000	385,127,000	357,978,000	364,314,000	459,126,000	
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円	411,945,000	385,127,000	357,978,000	364,314,000	459,126,000	
	職員数							
	正規職員	人						
	嘱託職員	人						
臨時職員	人							
合計	人							
対象（者）数								
延利用（者）数 (b)								
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—		
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円	7,337.00	6,880.00	6,418.00	6,562.00	8,288.00		
活動指標	負担金の拠出	目標	6	6	6	6	6	
		実績	6	6	6	6	6	
		達成率	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
	—	目標	—	—	—	—	—	
		実績	—	—	—	—	—	
		達成率	—	—	—	—	—	
	—	目標	—	—	—	—	—	
		実績	—	—	—	—	—	
		達成率	—	—	—	—	—	
	成果指標	医業収支比率	目標	100	100	100	100	100
			実績	102	97	96	96	100
			達成率	102.00	97.10	96.20	95.60	100.00
総収支比率		目標	100	100	100	100	100	
		実績	82	96.5	93.2	96	—	
		達成率	82.00	96.50	93.20	95.90	—	

備考：経常収支比率 H24 98.2%、H25 101.4%  
成果指標については、決算確定後でないため未入力

事務事業名	諏訪中央病院組合負担金	事業期間	平成 25 ~	年度	整理番号	04020109	
担当部署	健康福祉部	高齢者・保険課	医療保険・年金係	作成担当者名	笹岡 俊江	連絡先	322

期	目 標	実 績	課 題
第1期	地域医療の充実と安定経営	看護専学校分 37,250千円	地域医療の充実と安定経営のために、健全に努めていただく。
第2期	地域医療の充実と安定経営	諏訪中央病院事業分 134,281千円 介護老人保健施設やすらぎ分 10,626千円	地域医療の充実と安定経営のために、健全に努めていただく。
第3期	地域医療の充実と安定経営	看護専学校分 37,250千円	地域医療の充実と安定経営のために、健全に努めていただく。
第4期	地域医療の充実と安定経営	諏訪中央病院事業分 134,281千円 介護老人保健施設やすらぎ分 10,626千円	地域医療の充実と安定経営のために、健全に努めていただく。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拓 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A

課 題	特になし。	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定 A 前年度評価シート整理番号 03020209	

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	地域医療の充実と安定経営のために、今後も事業継続の必要がある。	病院事業分 第3次増改築事業が28年度に完了し、増築起債の償還額が33年度がピークとなる。地域医療の充実と安定経営のために、今後も事業継続の必要がある。								
前年度改革・改善策の実施状況	-					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	現状維持 引き続き事業を継続していく。	線出しルールの変更による繰出金の増額。 引き続き事業を継続していく。								

最終評価年月日	30.5.15	最終評価責任者	高齢者・保険課長	平澤 精一
---------	---------	---------	----------	-------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	国保診療所特別会計繰出金	事業期間	平成 25 ~ 年度	整理番号	04020110
担当部署	健康福祉部 高齢者・保険課	医療保険・年金係	作成担当者名	笹岡 俊江	連絡先
					322

計 画 目 的 的 手 段 ・ 方 法 （ ど う や っ て ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 06 第6節 地域医療の充実			
			細施策 01 地域医療の推進			
			事務事業 -			
予 算 事 業 名	国保診療所特別会計繰出金		会計コード	001 款 04 項 01 目 01 事業 09		
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	茅野市国民健康保険診療所特別会計では地域の患者さんに必要な医療を提供し、また、地域医療の充実のため、リバーサイドクリニック・泉野診療所・北山診療所の3診療所を運営しています。会計方式は地方公営企業会計にて行い、独立採算が基本ですが、北山診療所開設の初期投資及びリバーサイドクリニックの患者数等の減少により医療収益が悪化しているため、診療所運営の安定を図り地域医療の充実を図る必要があるため、北山診療所の赤字相当額及び地方公営企業の繰出し基準を準用し医療機器の購入費に対する半額の繰出を行う。					
現状と背景 （どうして）	診療所事業の主体となるリバーサイドクリニックの患者数は増加傾向ではありますが、無医地区で地元の要望により運営している泉野診療所は週1回、北山診療所は平成26年10月から常勤医師を配置しています。平成22年から3年続けて赤字決算でしたが、平成25年度からは27年度からは患者数の増と一般会計からの繰入により黒字決算となっています。					
目 対 象 （ 誰 の た め に ）	受益者	茅野市国民健康保険診療所を利用する地域の患者さん。				
	対象 （ 直 接 働 き か け る ）	茅野市国民健康保険診療所特別会計				
意 図 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	目的	茅野市国民健康保険診療所の安定した経営基盤による患者さんへの安定した医療サービスの提供と、経営的な余力による医療機器の充実に伴う医療の質の向上による患者サービス及び地域医療の確保。				
	手段・方法 （ ど う や っ て ）	茅野市国民健康保険診療所特別会計				
N （ 評 価 指 標 の 作 成 ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		地域医療の充実と安定経営	繰出金の交付	回数		2
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		安定経営	医療収支比率	%	(医療収益/医療費用) × 100	100
		経営安定	総収支比率	%	(総収益/総費用) × 100	100

項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）
事業費等 (a)	円	16,691,000	21,458,000	13,368,000	9,170,000	10,615,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円					
地方債	円					
その他特定財源	円					
一般財源	円	16,691,000	21,458,000	13,368,000	9,170,000	10,615,000
職員数						
正規職員	人					
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合計	人					
対象（者）数						
延利用（者）数 (b)						
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	297.00	383.00	240.00	165.00	192.00
D （ 活 動 指 標 ）	繰出金の交付	目標	回数	2	2	2
		実績	回数	2	2	2
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
	-	目標	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-
	達成率	%	-	-	-	-
O （ 成 果 指 標 ）	医療収支比率	目標	%	100	100	100
		実績	%	89	92	101
	達成率	%	88.80	92.00	101.28	99.10
	総収支比率	目標	%	105	105	105
		実績	%	102	104	109
	達成率	%	96.86	98.86	103.90	99.32
備考	成果指標については、決算確定後でないため未入力。					

事務事業名	国保診療所特別会計繰出金	事業期間	平成 25 ~	年度	整理番号	04020110	
担当部署	健康福祉部	高齢者・保険課	医療保険・年金係	作成担当者名	笹岡 俊江	連絡先	322

期	目 標	実 績	課 題
第1期	地域医療の充実と安定経営	なし	地域医療の充実と安定経営のために、適切な財政支援を行う。
第2期	地域医療の充実と安定経営	なし	地域医療の充実と安定経営のために、適切な財政支援を行う。
第3期	地域医療の充実と安定経営	なし	地域医療の充実と安定経営のために、適切な財政支援を行う。
第4期	地域医療の充実と安定経営	北山診療所に係る運営費の赤字相当額の繰出しを実施。病院の建設改良に要する経費(機器購入)の1/2相当額の繰出しを実施。	地域医療の充実と安定経営のために、適切な財政支援を行う。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の の 現 状 維 持 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A

課 題	特になし。	記号の定義 A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定 A 前年度評価シート整理番号 03020210	

細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
診療所運営の安定を図り地域医療の充実を図るためには、今後も事業継続の必要がある。	北山診療所の赤字補てん額の減額による縮小。医療の充実を図るためには、今後も事業継続の必要がある。
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性

今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後	
改 革 ・ 改 善 策	成 果 の 方 向 性 拡 充	② ⑤ ⑦	成 果 の 方 向 性 拡 充 レ
	現 状 維 持	③ ⑥ ⑨	
	縮 小	④ ⑧ ⑩	
	休 廃 止	①	
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	
	現状維持 引き続き事業を継続していく。	病院の建設改良に要する経費(機器購入)の繰出し基準の見直しを行い、単価100万円以上の機器対し、1/2を支援。引き続き事業を継続していく。	

最終評価年月日	30.5.15	最終評価責任者	高齢者・保険課長	平澤 精一
---------	---------	---------	----------	-------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	健康管理センター運営事業	事業期間	平成 ~ 年度	整理番号	04030102
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康総務係	作成担当者名	今井由香
				連絡先	330

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり								
				施策	06	第6節 地域医療の充実								
				細施策	01	地域医療の推進								
				事務事業	-									
	予算事業名	健康管理センター運営事業費			会計コード	001	款	04	項	01	目	01	事業	05
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	保健事業に供するための施設管理及び運営費												
	現状と背景 （どうして）	もしもの場合の火災報知機の設置、足の不自由な人のためのエレベーターの設置等しているが、正確に作動するか定期的に点検する必要がある。また、暑い夏、寒い冬の健診等において、快適に受診していただくため空調機の燃料が必要である。												
	目的	対象	受益者 （誰のために）	市民										
		対象	対象 （直接働きかける）	市民										
		意図 （どんな状態にしたいか）	安全、安心して健診・予防接種等を受けていただく											
	手段・方法 （どうやって）	専門業者に委託して、定期点検を行ってもらう。 設置済みの空調機を使用して、適温に設定する。												
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
		点検により安全の確認	点検実施率	%	点検回数÷点検依頼回数×100					100				
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
		不具合を出さない	不具合数	回	不具合の発生回数					0				

実 施 状 況 （ D O ）	項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）	
			事業費等 (a)	円	4,370,958	4,047,261	4,811,000	6,247,285
財 源 内 訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
職 員 数	一般財源	円	4,370,958	4,047,261	4,811,000	6,247,285	5,721,000	
	正規職員	人	0.01	0.01	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	人						
	臨時職員	人						
	合計	人	0.01	0.01	0.10	0.10	0.10	
対 象 （ ） 数	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
市 民 一 人 当 た り の コ ス ト	市民一人当たりのコスト	円	78.00	72.00	86.00	113.00	117.00	
	活動指標	点検実施率	目標	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	100	
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
成 果 指 標	不具合数	目標	0	0	0	0	1	
		実績	0	2	2	2	1	
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.00	
		目標	-					
	実績	-						
	達成率	%	-	-	-	-		
備考								

事務事業名	健康管理センタ運営事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	04030102
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康総務係	作成担当者名	今井由香	連絡先	330

期	目標	実績	課題
第1期	施設管理	施設管理	駐車所が危険である。 エレベーター使用ができない。
第2期	施設管理	施設管理	駐車所が危険である。 エレベーター使用ができない。
第3期	施設管理	施設管理	駐車所が危険である。
第4期	施設管理	施設管理	駐車所が危険である。

事中評価																										
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 駐車場の段差が非常に危険である。大雨時、隣の住宅等に水が入り込んでしまう。	今後の方向性																									
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 駐車場の改善。公共施設長寿命化計画による屋根改修。エレベーターの部品交換。	方向性																									
	<table border="1"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> <td>レ</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	成果の方向性	②	⑤	⑦	レ	拡大					現状維持	③	⑥	⑨		縮小	④	⑧	⑩		休廃止	①			
成果の方向性	②	⑤	⑦	レ																						
拡大																										
現状維持	③	⑥	⑨																							
縮小	④	⑧	⑩																							
休廃止	①																									
	皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性																									

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4					3					4	B
チェック																
課題	燃料費の高騰															記号の定義
																A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要
																前年度総合評価判定
																B
																前年度評価シート整理番号
																03020128

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
		乳幼児が裸で健診を受けるため、適温を維持する必要がある、なかなか経費削減には結びつかない。					乳幼児が裸で健診を受けるため、適温を維持する必要がある、なかなか経費削減には結びつかない。			
	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性(ACTION)	細施策評価前					細施策評価後					
	今後の方向性	成果の方向性	拡大	②	⑤	⑦	レ	成果の方向性	拡大		
	現状維持		③	⑥	⑨		現状維持				
	縮小		④	⑧	⑩		縮小				
	休廃止	①					休廃止				
			皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性					皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性			
改革・改善策	健診等終了直後に空調の電源を落とすように心掛ける。					健診等終了直後に空調の電源を落とすように心掛ける。					

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤澄子
---------	------------	---------	-----------	------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	地域医療推進諸経費事業費	事業期間	平成 〇〇 ~ 〇〇 年度	整理番号	04030104
担当部署	健康福祉部 健康づくり推進課 健康総務係	作成担当者名	今井 由香	連絡先	330

計 画 目 的 的 手 段 ・ 方 法 （ ど う や っ て ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 01 第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり		
			施策 06 第6節 地域医療の充実			
			細施策 01 地域医療の推進			
			事務事業	—		
予算事業名	地域医療推進諸経費			会計コード 001 款 04 項 01 目 01 事業 08		
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	診療所の管理・乳幼児健診・予防接種等予防業務への負担金、献血推進・准看護師養成等地域医療事業への負担金・諏訪地域献血推進協議会・長野県包括医療協議会・准看護学院運営費・地域医療学会・国保地域医療推進協議会・予防業務協力医師会・予防業務協力歯科医師会					
現状と背景 （どうして）	診療所の維持管理のため、地域予防業務のため、献血推進及び准看護師養成等のために。					
目的	受益者 （誰のために）	市民				
	対象 （直接働きかける）	市民				
目的	気軽に診療所を受診していただき、安心して健診等を受けていただく。					
手段・方法 （どうやって）	診療所の管理は、地元高齢者クラブへ委託または職員により行う。 予防業務及び地域医療事業は、協議会等への負担金により行う。					
N （ 評 価 指 標 の 作 成 ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		診療所の管理	管理回数	回	管理回数	2
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		協議会への負担金支払い	支払率	%	支払数÷請求数×100	100

項 目	単位	平成26年度	平成27年度	1201557	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）
事業費等 (a)	円	1,073,323	1,200,073	1,279,000	1,160,137	1,411,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円					
地方債	円					
その他特定財源	円					
一般財源	円	1,073,323	1,200,073	1,279,000	1,160,137	1,411,000
職員数	人	0.03	0.30	0.30	0.30	
正規職員	人					
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合計	人	0.03	0.30	0.30	0.30	
対象（者）数						
延利用（者）数 (b)						
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	19.00	21.00	23.00	21.00	25.00
D （ 活 動 指 標 ）	管理回数	目標	回	2	2	2
		実績	回	2	2	2
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
	—	目標	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—
	達成率	%	—	—	—	—
O （ 成 果 指 標 ）	支払率	目標	%	100	100	100
		実績	%	100	100	100
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
	—	目標	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—
	達成率	%	—	—	—	—
備考						

事務事業名	地域医療推進諸経費事業費	事業期間	平成	~	年度	整理番号	04030104
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康総務係	作成担当者名	今井由香	連絡先	330

期	目 標	実 績	課 題
第1期	診療所の管理 協議会等への負担金の支払い	診療所の草刈り 協議会等への負担金の支払い	診療所の管理委託料の金額が安い
第2期	診療所の管理 協議会等への負担金の支払い	診療所の草刈り 協議会等への負担金の支払い	診療所の管理委託料の金額が安い
第3期	診療所の管理 協議会等への負担金の支払い	診療所の草刈り 協議会等への負担金の支払い	診療所の管理委託料の金額が安い
第4期	診療所の管理 協議会等への負担金の支払い	診療所の草刈り 協議会等への負担金の支払い	診療所の管理委託料の金額が安い

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 診療所の管理委託料の金額が安いと、市民からご意見があった。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 診療所の管理委託料の金額の増額、負担金の現状維持	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B

課 題	診療所の老朽化に伴い、今後のあり方について検討する必要がある。	記 号 の 定 義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定 B 前年度評価シート整理番号 03020143	

細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
診療所の老朽化に伴い、今後のあり方について検討する必要がある。	診療所の老朽化に伴い、今後のあり方について検討する必要がある。
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性

今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
成 果 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性
拡 充	②	⑤
現 状 維 持	③	⑥
縮 小	④	⑧
休 廃 止	①	⑩
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性
改 革 ・ 改 善 策	診療所の老朽化に伴い、今後のあり方について検討する必要がある。	診療所の老朽化に伴い、今後のあり方について検討する必要がある。

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤澄子
---------	------------	---------	-----------	------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	湖東診療所解体工事業	事業期間	平成 29 ~ 29 年度	整理番号	04030104
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康総務係	作成担当者名	今井 由香
				連絡先	330

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	政策体系	政策	01	第1章 お互いに支えあい、その人らしく暮らせるまちづくり									
			施策	06	第6節 地域医療の充実									
			細施策	01	地域医療の推進									
			事務事業		湖東診療所解体工事業費									
	予算事業名	地域医療推進諸経費			会計コード	001	款	04	項	01	目	01	事業	08
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	茅野市では医療供給体制が整い、病診連携がはかられ、かかりつけ医を持つことが定着してきている。湖東診療所再開に対する地域のニーズはなく、防火・防犯上、管理が行き届かない状況であり、解体し整地をする。												
	現状と背景 （どうして）	平成25年度から診療にあたる医師の確保ができず診療としては休業をしており、施設の老朽化が著しく、診療所機能への地域のニーズもないことから再開の予定はない。地域では「湖東診療所は住宅に隣接した建物であり、防火・防犯上不安である」との声がある。												
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	地域住民											
		対象 （直接働きかける）	地域住民											
		意図 （どんな状態にしたいか）	解体し整地することにより地域住民の安全、安心を確保する。											
	手段・方法 （どうやって）	笹原区長、須栗平区長に説明する。 近隣住民へ工事についての説明を行う。 笹原保育園の動向を見ながら、近隣住民への説明、解体時期を判断する。												
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
		近隣住民の理解を得る	会議開催	回	開催回数					1				
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
		建物解体	建物	件	診療所建物					1				
	備品処分	備品	式	診療所内不要備品					1					

項	目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）	
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円				4,621,675		
	財 源 内 訳	国庫支出金	円					
		県支出金	円					
		地方債	円					
		その他特定財源	円					
	職 員 数	一般財源	円				4,621,675	
		正規職員	人				0.19	
		嘱託職員 臨時職員	人					
	合計	人				0.19		
	対象（者）数					30		
延利用（者）数 (b)								
単位コスト (a)/(b)	円							
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円					83.00		
活 動 指 標 （ ）	会議開催	目標	回				1	
		実績					2	
		達成率	%				200.00	
	-	目標	-					
		実績	-					
		達成率	%					
	-	目標	-					
		実績	-					
		達成率	%					
	成 果 指 標 （ ）	建物	目標	件				1
実績							1	
		達成率	%				100.00	
備品		目標	式					1
	実績						1	
	達成率	%				100.00		
備考								

事務事業名	湖東診療所解体工事業	事業期間	平成 29 ~ 29 年度	整理番号	04030104
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康総務係	作成担当者名	今井由香
				連絡先	330

期	目 標	実 績	課 題
第1期	笹原保育園統廃合検討委員会の動向を見ながら時期を判断し、解体することについて周知し、区長、近隣住民の理解を得る。 工事に必要な手続きを行い解体工事に入る。	笹原区長に建物内部を見てもらい、利用ができない状態であることを理解してもらった。	住民感情の把握。
第2期	区長さんとの打合せ。工事発注準備を行う。	区長さんと打合せを行い、解体の了承を得た。湖東区長会での了承を得た。	住民感情の把握。
第3期	工事の実施。	近隣住民へ、工事のお知らせと協力をお願いにまわった。 解体工事を行った。	特になし。
第4期	工事中に見えられた特殊な廃棄物の処分。	工事中にトランスや薬剤、注射針等の特殊な廃棄物が見つかったため、様々な手続きを経て処分した。	特になし。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拓 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 方 向 性 性
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ① レ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
なし	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
	前年度総合評価判定					前年度評価シート整理番号										

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	順調に進み、土地についても管理課への所管替が済んでいる	順調に進み、土地についても管理課への所管替が済んでいる								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今 成 拓 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 方 向 性 性	②	⑤	⑦						
	③	⑥	⑨							
	④	⑧	⑩							
	① レ									
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
なし	なし									

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	健康づくり推進課長	柳澤澄子
---------	------------	---------	-----------	------